

経済倶楽部便り

◆東京◆ さる12月12日の一夕、創立80年記念パーティを忘年会も兼ねて開催しました。出席者120名を超える盛況ぶり、事務局として厚く御礼申し上げます。ミニコンサートでは、日フィルのソロチェリスト・菊地知也氏をお迎えし、黛敏郎の難曲「BUNRAKU」にはとりわけ大きな拍手をいただきました。

さて1月の講演会には、藤本隆宏氏（東京大学大学院教授）、佐々木毅氏（学習院大学教授）、嶋中雄二氏（三菱UFJモルガン・スタンレー証券参与・景気循環研究所長）をお招きします。

新会員を紹介します（順不同）。井上克信・日本曹達相談役、杵渕裕・日本曹達代表取締役社長、藤田外史・日本曹達常務化学品事業部長、照沼芳則・清和綜合建物顧問、加藤丈夫・富士電機ホールディングス特別顧

問、三輪正明・北越紀州製紙取締役。（塚田 紀史）

◆中部◆ 12月に入って講演会以外のイベントが二つありました。一つは遅れていた秋旅行で、行先は京都の堀場製作所。「おもしろおかしく」を社是とする元祖ベンチャー企業です。途中、嵐山で昼食を取りましたが、今年は寒気の到来が遅いせいか、紅葉もまだ楽しめました。堀場ではさまざまな計測器を見せてもらいましたが、なんととってもハンディな放射線モニタに参加者の関心が集中。昨年まで年間100個程度だったものが、今年は1万個を超えるとのことでした。中旬には年末懇親パーティを実施しました。講演者の田原総一朗氏にも時間の許す限り参加していただき、盛況の内に終えることができました。

1月の講演会は東京福祉大学の水谷研治氏による「2012年の日本経済見通し」からスタートします。その後は「株式見通し」について東海東京リサーチセンターの中井裕幸氏を予定しています。（日暮 良一）